



71 北面の丸瓦葺土の状況  
西北より見る。最も多く営巢の状況が見られた面である。

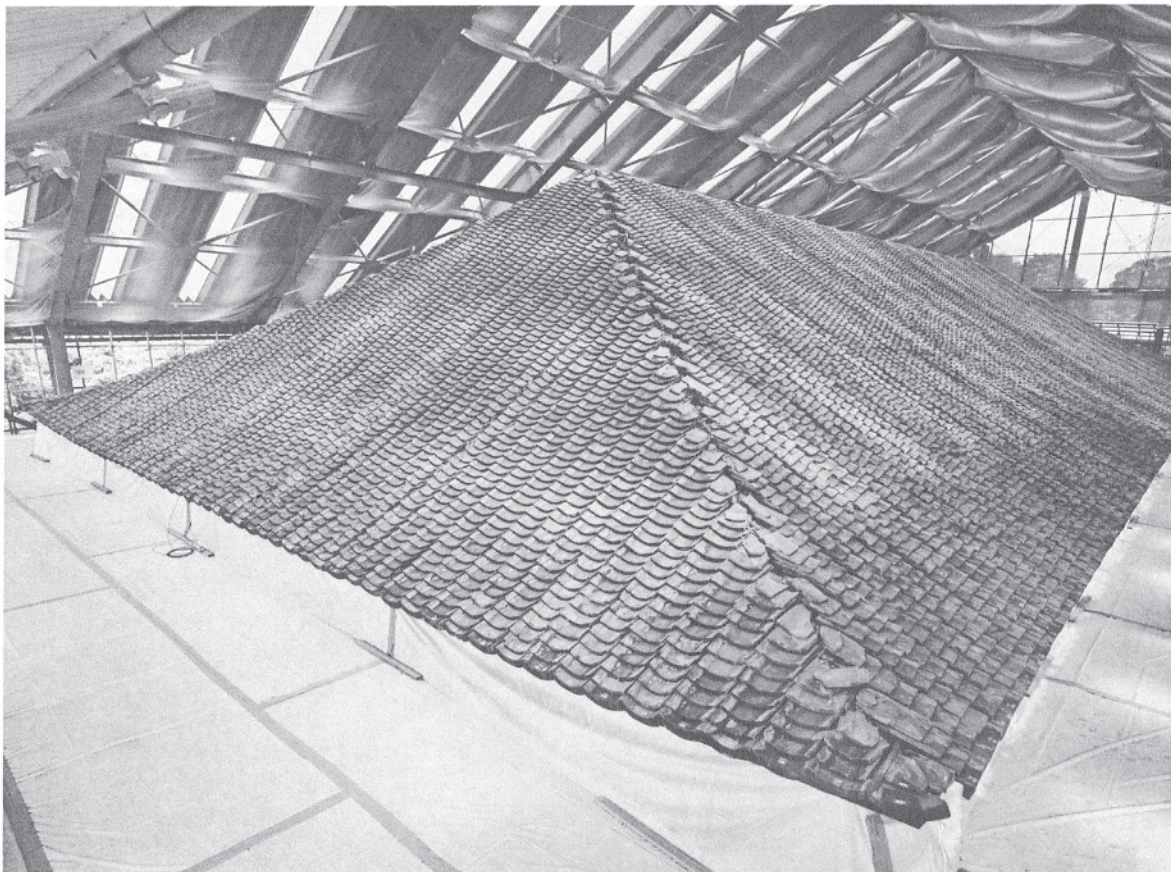


72 西面の丸瓦葺土の状況  
西北より見る。西面の南側と北側で葺土が変わっている様子が見られた。北方の白っぽい土は大正十年の修理のものである。





73 南面及び西面の平瓦の状況  
西南より見る。



74 南面及び東面の平瓦の状況  
東南より見る。平瓦の乱れがわかる。





75 西面北寄りの平瓦の状況

西面には大正期の補足瓦が南から葺かれていたが、写真はちょうどその境であり、左は古瓦で葺かれていた。大正期の平瓦に葺足等の乱れはなく、割付も隙間が小さくなるようしっかりと葺かれている様子がわかる。



76 北面の平瓦の状況

北より見る。平瓦の割付は甘く、瓦間の隙間が大きい。北面は葺足の乱れも大きく、割れている瓦もかなり見られた。





77 南面及び西面の平瓦葺土の状況  
西南より見る。西面には大正修理での補足瓦が南から葺かれており、丸瓦同様の葺土の違いが見られた。



78 南面及び東面の平瓦葺土の状況  
東南より見る。東面にも営巢の跡が多く見られた。南面は比較的健全であった。





79 西面北寄りの平瓦葺土の状況

図版写真75の位置での葺土。西面には大正修理での補足瓦が南から葺かれていたが、写真は  
大正期の補足瓦の北寄りである。左には大正十年の瓦が葺かれており、右の大正二年（1913）の瓦との境で葺土に変化が見られた。



80 北面の平瓦葺土の状況

北より見る。営巢の跡が多く、小枝や松葉が混ざり、葺土も流れたのか少ない状況であった。